

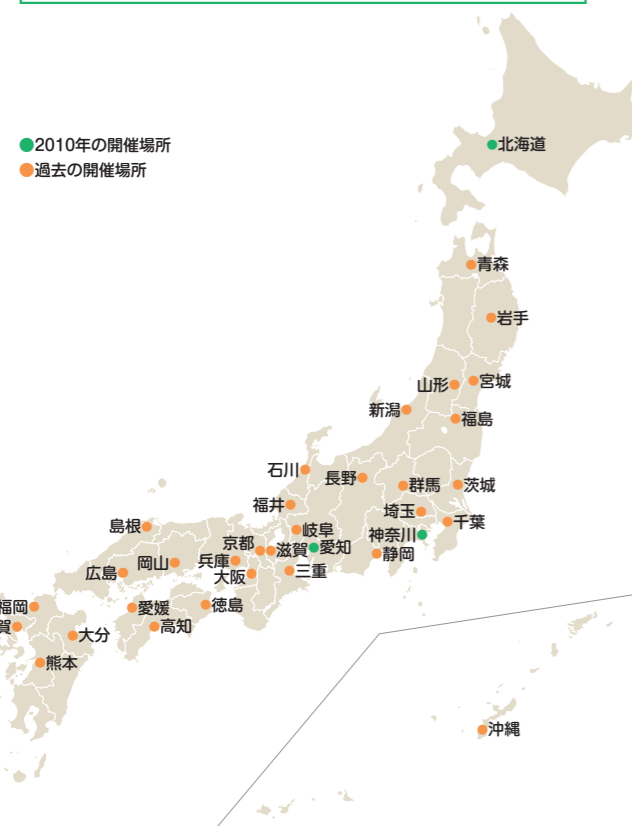
牛乳パックリサイクル促進地域会議

各地域での情報交換を通じて、
リサイクルの促進を図る
地域会議を開催。

「牛乳パックリサイクル促進地域会議」は、容環協と全国パック連の共催で毎年開催されており、地域ごとの現状と課題を把握することで、牛乳パックリサイクルの拡大を図ることを目的としています。2010年は神奈川、愛知、北海道の3カ所で開催しました。

各会議とも、自治体や関連メーカー、市民団体など多彩なメンバーの参加を得、さまざまな報告や問題提起がされています。そして関係者が相互に理解を深め、情報交換することで、よりいっそうリサイクルを推進していくことを確認しました。

地域会議の開催場所



牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 神奈川／横浜市

- ◆開催日 2010年2月25日
- ◆参加者 関東農政局、自治体関係者、市民団体、地元乳業メーカー・乳業関係者、製紙メーカー、回収事業者など計39名

【主な報告や問題提起】

- 横浜市では古紙回収の84%が集団回収で、うち牛乳パックは例年0.5%程度。ただし回収単位である30枚を貯める前に、週1回、回収される雑みとして出してしまう、という現状も報告されました。
- 神奈川県教育委員会では、平成16年と21年に各市町村に「学乳紙パックの適正処理に関する通知」を出しています。平塚市ではこの通知を受け、平成21年末より市内の小学校28校中、11校で回収を実施しているとのこと。
- 乳業メーカーからは、平成22年度より学乳紙パックのリサイクルを実施する市や検討している学校があった報告がありました。ただし校長会で保留中など、難航している市があることも報告されています。
- 再生紙メーカーから、牛乳パックの需要は確実にあるため、もっと集めてほしいという積極的な意見が出されました。また回収率アップのためには、より効率的なしくみを作る必要性も指摘されました。



各方面からさまざまな意見が出された神奈川での会議

牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 愛知／名古屋市

- ◆開催日 2010年7月8日
- ◆参加者 東海農政局、自治体関係者、市民団体・個人、地元乳業メーカー・乳業関係者、回収事業者など計34名

【主な報告や問題提起】

- 愛知県では紙パックのほとんどを資源ごみとして分別収集しており、かつて増え続けていたごみの量も、リサイクル意識の高まりで、減少傾向とのことでした。
- 名古屋市では、市で行っている拠点回収量(年間172トン)を、中部リサイクル運動市民の会など、行政回収以外による収集量(年間400トン)が大きく上回っています。
- 中部リサイクル運動市民の会の現場スタッフから、自分たちの活動状況を考えると、全体のリサイクル率が低いことに驚いている、という意見も出されました。本会議のような機会を増やし、もっと活動を市民に広げてほしいといった提案がされました。
- 学乳は7割がビンで提供されており、紙パックは乳業メーカーで回収されている旨の報告が、愛知県畜産課からありました。また各乳業メーカーからも、牛乳パック回収のためのさまざまな取り組み事例が報告されました。



積極的な質疑応答もあった愛知での会議

牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 北海道／札幌市

- ◆開催日 2010年10月27日
- ◆参加者 北海道農政事務所、自治体関係者、市民団体、流通事業者、地元乳業メーカー・乳業関係者、製紙メーカー、回収事業者など計36名

【主な報告や問題提起】

- 北海道は20年以上前から活発に紙パックの回収に取り組んできたエリアです。その受皿となってきた道栄紙業(株)から、ここ数年来、会社に入ってくる量は横ばいであると報告。市民が資源を出しやすいしくみづくりと回収した効果を「見える化」し、人口190万人を擁する札幌市の回収率向上に努めてほしい、という意見が出されました。
- 札幌市では昨年7月より「新ゴミルール」が設定され、有料化も実施。従来燃えるごみとされていた「雑み」の区分を設けたところ、相乗効果で紙パックの回収量も伸びたそうです。
- 苫小牧市では資源物全般が116%に増加、石狩市の紙パック回収量は平成21年度で694kgと、増加傾向とのことでした。
- 地元スーパーの(株)セイコーマートの取り組みはP18参照。
- 地元乳業メーカー各社からは、工場見学等を通じて、紙パック回収活動および啓発活動に取り組んでいる旨の報告がありました。



活発な意見交換が交わされた北海道での会議

牛乳パックリサイクル講習会

牛乳パックリサイクル出前授業

現状を知っていただき、
実際のリサイクルを体験する
楽しい講習会です。

子どもたちの学びの場に。
毎年好評の「出前授業」を
全国の小学校で開催。

【筑西市】3月25日

計77名の方が参加された大規模な講習会となりました。筑西市での取り組みや紙パックリサイクルの状況などを聞いた後、地元メーカーの牛乳を飲んで、紙パックの手開きを体験。好みの花模様などをすき込んだはがきづくりにも挑戦しました。

【西東京市】8月2日

最新のエコ設備を備えたエコプラザ西東京で、小学生とその保護者計53名が参加。紙すき体験など、楽しい夏休みのひとときを過ごしました。講習の中で出題されたちょっと難しい環境クイズに正解が出るなど、環境意識の高さがうかがえる講習会でした。

【筑西市】8月7日

今年2回目となる筑西市での開催で、午前中は、地域独自で開催するリサイクル講習会の講師を養成するための講習と体験に31名が参加。午後からは一般の方19名が参加し行われました。いずれの参加者も熱心で、今後の地域での自主活動に期待が感じられる内容でした。

【蕨市】8月18日

埼玉県の蕨市は、ごみの資源化率が全国平均を10%以上も上回るなど、環境対策に積極的な自治体。「夏休みパワーアップ大作戦!」という企画の一環として開催されたこの講習会でも、新たに制作した「牛乳パック探検隊」のDVDを見たり、牛乳パックの手開きや紙すき体験を通じ、有意義な時を過ごしました。

【札幌市】10月28日

地元NPO法人の「リ・ふれんず」、道栄紙業(株)の皆さんのご協力により、紙パックリサイクルに関心の高い方が参加されました。いつになく背広姿の参加者が多かったのですが、背広を脱ぎ、ワイシャツの腕をまくって、手すきはがきづくりを体験しました。

【横浜市】11月13日

子どもたちが自然に親しむことで、環境に興味・関心を持つことを目的に活動している「こどもりクラブ」で行われました。会場は無垢材が使われているモデルハウス。手すきはがきづくりでは、「森と海との初めてのコラボレーション!」と銘打ち、色鮮やかな海藻をすき込むなど、楽しい工夫いっぱいの講習会でした。

全国の小学校で、全国パック連と容環協が共催している、「牛乳パックリサイクル出前授業」。今年は以下の5回行いました。

【広島市立仁保小学校】1月26日

平成13年から学乳パックのリサイクルに取り組んでいる仁保小学校。児童会が率先して始めたとのことで、子どもたちが積極的に活動を行っています。昨年に引き続き2回目となる今回の授業は4年生99人が対象で、講義と紙すき体験を行いました。質問にも活発に発言するなど、意識の高さが印象的でした。

【金沢市立泉野小学校】2月10日

4年生107名とともに保護者の方60名も参加された大規模な授業となりました。講義はみんな真剣そのもの。その後の手すきはがきづくりでは、バレンタインデー直前ということで、ハートマーク入りのはがきが人気に。でき上がりの感想を述べながら、楽しくリサイクルを学びました。子どもたちが役割ごとにてきぱきと動く姿も印象的でした。

【金沢市立泉野小学校】6月11日

今年2回目の出前授業となる同校で、4年生3クラスとその保護者の方たちを対象に実施。講義では参加者全員が熱心に耳を傾けていました。また紙すき体験では、子どもたちはもちろん、お母さんたちからもさまざまな質問がありました。同校並びに父兄の環境意識の高さを感じました。

【大和市立渋谷小学校】10月20日

大和市内の小学校教諭12名の皆さんが参加。出前授業は通常児童が対象ですが、「子どもにわかりやすく説明するには、自分たちで学習することが大切」と先生方より申し込みがあり、実現しました。講義の後、手すきはがきづくりも体験。渋谷小では学乳パックを回収していますが、校長先生から「リサイクルをもっと促していかなければ」という力強い言葉がありました。

【岸和田市立城東小学校】11月5日

4年生63名を対象に開催。韓国で紙パックリサイクルを進めている「韓国紙パック資源循環協会」の会長と「ソウル牛乳協同組合」の物流本部長が見学されての授業となりました。授業終了後になごやかな意見交換の場があり、子どもたちの積極的な質問に、丁寧に答えていた姿も印象的でした。韓国でも同様の授業を開催したいと意欲を見せていました。



熱心にお話をきく参加者(西東京市)



牛乳パックの手開きも体験(札幌市)



紙すき体験に興味津々(広島市立仁保小学校)



質疑応答の様子(岸和田市立城東小学校)

「結成25周年」

今回のテーマは「環境教育」。
企業による出張授業の
取り組み報告がありました。

11月30日、第4回となる全国パック連主催の「環の縁結びフォーラム」が開催され、国、各種団体、関連企業などから計70名が参加しました。今回のテーマは「環境教育」。出張授業という手法で社会貢献活動を展開している様々な業種の企業から事例が紹介されました。

まず主催者の平井代表から、開催の主旨と「回収ルートのない時代から運動を始め、今年で25周年を迎えた。今後も関係各位と連携し、活動を継続したい」との挨拶があった後、容環協・重成会長からも、「使い捨てが当たり前の時代であった25年前、全国パック連の意義ある取り組みで紙パックの循環が始まった。今後も連携を強化し、活動を進めていきたい」との挨拶がありました。

【基調講演と企業からの報告】

環境省・増井久輝環境教育推進室長補佐による「環境教育・環境学習の推進について」というテーマの基調講演があり、「21世紀環境立国戦略」「国連持続可能な開発のための教育(ESD)」についての取り組み事業などの報告がありました。

また、東京ガス(株)から「東京ガスの学校教育支援活動について」、(株)日本製紙グループ本社から「森と紙のなかよし学校」、国際的な取り組みを展開しているパナソニック(株)から「次世代育成の取り組み～環境教育を通じて～」のテーマで事例報告がありました。

容環協からは、「紙パックのリサイクルと環境教育」のテーマで、小学校を対象に開催している出前授業の事例を紹介。身近な牛乳紙パックのリサイクルの話や、手すきはがきづくりなど、通常の授業では得られない幅広い観点からの環境にかかわる情報・知識を、興味をもって習得・実感・体験してもらえよう、授業内容を工夫しているとの報告を行いました。

いずれの報告も、それぞれ工夫を積み重ねた取り組み内容で、新たな情報の共有化を図る有意義な場となりました。

関係団体が多数集い、
リサイクルの現状と課題を
話し合う貴重な場に。

【全関係者との意見交換会】2月4日

東京・千代田区の乳業会館で、国、自治体、市民団体、乳業メーカー、紙パックメーカー、原紙メーカー、古紙事業者、再生紙メーカー、流通事業者など、関係団体から57名が一堂に会する意見交換会を開催しました。

農水省から回収率50%達成のためバックアップしていくこと、経産省から紙パックにおいてはリサイクルが特に重要と認識し、今後も積極的にアシストしていくこと、環境省からリサイクルの環の透明化、安定化について市町村も含め審議を進めていることが報告されました。

また、自治体からは学乳紙パックのリサイクルの積極的な支援活動について、乳業メーカーからはリサイクルに向けた普及啓発活動の報告がなされ、流通事業者の一部からは、今後回収量を増やすには、自らの回収のしきみを再検討する必要があるとの意見が出されました。一方、古紙事業者からは紙パックを集める競争が過熱しているとの報告がありました。

全国パック連からは、紙パックとその他紙と一緒に回収すると再分別が難しいので、消費者を混乱させないよう、分別の必要性を再認識し、回収に取り組むべきとの意見が出されました。

【再生紙メーカーとの意見交換会】7月23日

再生紙メーカー6社(初参加1社)、古紙事業者、シンクタンクなどから28名が参加し、静岡県富士市にて開催しました。

容環協常務理事並びに来賓の挨拶のあと、新たに制作したDVD「牛乳パック探検隊」を全員で見ました。続いて容環協より、飲料用紙パックリサイクルの現状と動向に関する基本調査について報告を行いました。

意見交換会では、再生紙メーカーを中心に活発な議論がなされました。メーカー各社はいずれも回収絶対量が不足しており、あの手この手で回収量を増やす工夫や努力を行っています。しかし一方で、雑がみの中に牛乳パックが混入しているというケースが予想以上に多いとの指摘もあり、アルミ付き紙パックとの分別回収とともに今後の課題との共通認識に立ちました。

良質の資源である牛乳パックの回収率を上げていくためには、再生紙メーカーや古紙事業者の協力と再生品の利用促進が今後も不可欠です。



全国パック連・平井代表の主催者挨拶



容環協・重成会長の挨拶



各関係団体との意見交換会の様子



活発な議論がなされた再生紙メーカーとの意見交換会の様子



リサイクルの大切さを啓発。
パックの手開きや
紙すきを体験しました。

【エコライフフェア2010】6月5日、6日

楽しみながら私たちのライフスタイルを環境にやさしいものとするをめぐって、毎年6月に開催されている環境省主催の「エコライフフェア」。このイベントに、今年も前年同様、全国パック連との協働で出展しました。

ブースでは紙すき体験や牛乳パックを使った工作及び、牛乳パックの手開きの体験などを実施。原料の木が育つ森林管理からリサイクルまでの流れをパネルで説明したり、新たに制作した「牛乳パックン探検隊」のDVDを見てもらい、理解を深めていただきました。

ワークショップでは用意した席がすぐに埋まってしまうほどの人気ぶり。参加された皆さんは、配付された牛乳を飲みながら熱心に耳を傾けていました。牛乳の良さや紙パックのリサイクルの大切さを知っていただくよい機会となりました。



飲み終わった後の牛乳パックの手開きを体験



環境省リサイクル推進室 上田室長を囲んで

連日盛況の容環協ブース。
国内最大級の環境展に
出展しました。

【エコプロダクツ2010】12月9日～11日

毎年12月に東京ビッグサイトで開催される国内最大級の環境展「エコプロダクツ展」に、連続7回目となる出展を行いました。今年の来場者数は前年を上回る183,140人。ブースは、全国の乳業メーカーから提供された紙パックで作った「クリスマスツリー」や「牛乳パック壁面展示」で飾られ、容環協ならではの企画と好評でした。

また、全国パック連の協力による人気の「手すきはがきづくり体験」や、9枚のパネル展示と連動した「牛乳パックンクイズ」などのイベントにも、多くの方に参加していただくことができました。

さらに「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」受賞作品の展示、新たに制作したDVD「牛乳パックン探検隊」の放映なども行い、容環協ブースは、連日盛況となりました。



全国から集められた牛乳パックを展示



好評の手すきはがきづくりコーナー

大久保甲斐さんの作品
「森の木から生まれた魚」が
みごと最優秀賞に。

今年で10回目を迎えた「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」は、小学生を対象とした牛乳パックの工作コンクールです。全国各地より寄せられた4,183点もの応募の中から厳正な審査の結果、受賞作品8点と、十周年記念特別奨励賞(佳作)5点が選ばれました。



最優秀賞作品「森の木から生まれた魚」
大久保 甲斐さん

最優秀賞に選ばれたのは、山口市立小郡小学校2年・大久保甲斐さんの作品「森の木から生まれた魚」。紙パックのパッケージデザインを、ヒレやウロコに効果的に使った力作です。

受賞作の表彰式は「エコプロダクツ2010」の容環協ブースで催され、審査委員長の東京国立博物館・銭谷館長、実行委員長の容環協・重成会長はじめ審査委員の方々から、受賞者8名に一人ずつ賞状・盾・副賞が贈られました。受賞者答礼は最優秀賞受賞の大久保甲斐さんが行い、作品完成までの工夫と想いを述べました。

なお受賞作品は、容環協の子ども向けホームページ「牛乳パックン探検隊」で紹介されています。

《受賞作品》

- ◆最優秀賞 「森の木から生まれた魚」
大久保 甲斐さん(山口県山口市立小郡小学校2年)
- ◆優秀賞 「エコ・アンブレラ」
秦 まりなさん(和歌山県和歌山市立三田小学校3年)
- ◆優秀賞 「牛にゅうパックで切りおこし サケの川のほり」
前田 康汰さん(千葉県佐倉市立西志津小学校4年)
- ◆全国小中学校環境教育研究会賞 「牛乳パックの地球儀」
川本 千夏さん(奈良県斑鳩町立斑鳩東小学校5年)
- ◆全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞
「わたしのおべんとう」
瀬尾 梨々花さん(広島県庄原市立東城小学校2年)
- ◆全国牛乳容器環境協議会賞 「牛にゅうパックヘリコプター」
金子 修汰さん(群馬県前橋市立若宮小学校4年)
- ◆日本酪農乳業協会賞 「牛乳パワーでシュート!」
滝澤 稜さん(神奈川県相模原市立千木良小学校5年)
- ◆テトラパック賞「しゃしん立てつきのラップ&ペーパーホルダー」
前山 未有さん(埼玉県さとえ学園小学校1年)

《佳作》十周年記念特別奨励賞

- ◆建山 祐輝さん(熊本県熊本市立城山小学校1年)
- ◆角田 淳美さん(神奈川県横浜市立市ヶ尾小学校2年)
- ◆吉川 泰生さん(千葉県佐倉市立西志津小学校2年)
- ◆木崎 悠作さん(埼玉県さとえ学園小学校4年)
- ◆東原 淳起さん(大阪府吹田市立古江台小学校4年)



最優秀賞受賞の大久保甲斐さん



エコプロダクツ2010で行われた表彰式



リサイクルの大切さを
わかりやすく学べる
DVDや書籍を作成しました。

DVD「牛乳パックン探検隊」

小学生向けサイト「牛乳パックン探検隊」の開設から5年。全国パック連と容環協は、子どもたちが環境を考え、自ら行動することの大切さを学ぶ教材として、新たにDVD「牛乳パックン探検隊」を制作しました。紙パックリサイクルについて、写真やアニメーションを使って約7分間にまとめられ、たいへんわかりやすい内容になっています。お申込みいただいた学校・団体に無料配付しています。

書籍「紙パック宣言」

容環協では、よりいっそうのリサイクル率向上を目的に「紙パック宣言」を2009年に出版しました。植林から製品の流通、リサイクル・再生利用まで、紙パックのライフサイクルをトータルで描くとともに、リサイクル運動の歴史や教育現場での取り組みなどもわかりやすく紹介しています。

監修に早稲田大学政治経済学術院の寄本勝美教授、著者に(株)エコイプスの猪瀬代表、全国パック連の平井代表のほか、容環協からも7名が参画しました。



DVD「牛乳パックン探検隊」

さらなるリサイクルの推進や
課題解決に向け、
全国の最新事例を紹介。

「牛乳パックリサイクル全国20事例集」第3集

全国パック連と容環協は協働で、「牛乳パックリサイクル全国20事例集」第3集を発刊しました。

現在、店頭回収、市町村回収、集団回収の3ルートが確立されている回収システムですが、分別回収を実施する際、地域への理解や工夫は重要な課題です。この事例集は、全国の市民団体、自治体、事業者各分野での最新実践事例を紹介することで、リサイクルにおけるさまざまな課題解決のヒントとなることを目的としています。

過去に紙パック再資源化の成果をまとめた紙パック回収事例を第1集として発刊しました。今回は昨年発刊した第2集に、より積極的な取り組み事例を加え、且つよりわかりやすい内容に編集しています。



書籍「紙パック宣言」



第3集となった「全国20事例集」

「飲料用紙パック」に関わるワーキンググループ
を結成し、「省CO₂効果の表示」をめざした排出量
算定のためのルール作りを進めています。

【背景と活動の進捗状況】

地球温暖化防止対策の一環として、日本でも注目を集める、CO₂排出量の「見える化」。「どこで」「どれだけ」CO₂が排出されたかを表示するカーボンフットプリント(CFP)制度^{*1}の普及導入に向けた動きも活発です。

しかし食品産業分野では、一般的な工業製品などとは異なり、関係する生産者やメーカーの抱える課題が複雑であることから、農林水産省が、より柔軟で取り組みやすい「見える化」を進めるために、農林水産分野を対象に「省CO₂効果の表示の指針」(平成21年3月)を発表しています。

容環協では、(社)日本乳業協会(以下乳協)と協力し、この指針に沿って具体的な活動を開始することを2009年4月に決定しています。

従来から容環協では、牛乳などの飲料用紙パックについて、「森林資源の調達段階」から「廃棄リサイクル」までのライフサイクルアセスメント(LCA)を研究し、さまざまな啓発活動の中で、その成果の「見える化」を実施してきました。その実績を活かし、事業者が使いやすい飲料用紙パックのCO₂排出量算定基準(PCR^{*2})策定のワーキンググループを昨年9月に結成し、着実な活動を進めています。

2010年8月には、CFP制度試行事業の公式サイトに、飲料用紙パック^{*3}名でPCR原案策定計画の登録(登録番号:PPR-082)が行われ、12月にPCR原案の認定申請を行いました。

*1 商品・サービスのライフサイクルの各過程で排出される「温室効果ガス」の量を合算し、CO₂量に換算して表示することをいいます。
*2 商品種別算定基準(Product Category Rule)の略称。
*3 カートン工場で製造したカートンに、飲料工場で一定量の飲料を充填密封した状態のもの。

【これまでの主な活動】

- 1月27日… 第4回ワーキンググループ(以下WG)会議実施。名称、対象、カテゴリー、リサイクルの間接影響等を協議。
- 3月 4日… 第5回WG会議実施。用語、ライフサイクルフロー等を協議。
- 4月20日… 第6回WG会議実施。検討スケジュール、名称、配分(アロケーション)等を協議。
- 6月 1日… 第7回WG会議実施。適用範囲、データ収集、各社へのヒアリング等を協議。
- 7月29日… 第8回WG会議実施。適用範囲、用語、定義、算定単位、CO₂排出量の試算等を協議。
- 9月 2日… 第9回WG会議実施。名称、カットオフと割戻し、プロセス名等を協議。
- 10月 7日… 第10回WG会議実施。名称、定義、二次データ、排出量試算に向けた各社アンケート調査等を協議。
- 11月17日… 第11回WG会議実施。各社アンケート調査等を協議。PCR素案の精査実施。
- 12月14日… 第12回WG会議実施。PCR素案、シナリオ等の精査実施。



ワーキンググループ会議の様子

(参考)
2009年

- 4月15日… 乳協、容環協とも飲料用紙パックのCO₂排出量の算定基準作成に向けた活動方針を組織決定。
- 9月16日… 乳協、容環協共同の飲料用紙パックのCO₂排出量の見える化WGを結成。

その他の活動

プラン2010から次期行動計画へ

ホームページをリニューアル!
紙パックのリサイクルについて、
さらにわかりやすく紹介。

【容環協ホームページ】

活動報告からリサイクル方法まで、情報満載の容環協ホームページが、この度、“より見やすく”“わかりやすく”“使いやすく”をテーマにリニューアルされました。

ホームページでは、紙パックのリサイクルの基本的なルールや紙パックの回収率、自治体やメーカーなどのリサイクルの取り組み事例などを、図や写真を交えて掲載。

中期行動計画「プラン2010」についても、詳細に紹介しています。また、容環協が実施している「牛乳パックリサイクル促進地域会議」や「牛乳パックリサイクル講習会」、各地の小学校への「出前授業」といった活動の様子も随時報告しています。

さらに小学生向けサイト「牛乳パック探検隊」も好評です。紙パックリサイクルについてわかりやすく学べる他、P10でご紹介したDVDのダイジェスト版や毎年開催されている「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」の情報も見ることができます。

容環協HP <http://www.yokankyo.jp>

牛乳パック探検隊HP <http://www.packun.jp>



容環協ホームページ



牛乳パック探検隊ホームページ

リサイクル率向上のため、
今年も回収拠点拡大活動と
環境キャンペーンを実施。

【回収拠点拡大活動】

紙パックの回収協力者を拡大するには、新しい回収拠点を生活エリアに数多く作ることが不可欠です。そこで全国パック連と容環協は、軽便な牛乳パック回収ボックスを制作し、回収のきっかけづくり支援と回収拠点拡大を目標に、全国各地への提供運動を進めています。

2010年9月末現在、18,900カ所に設置され、目標である20,000カ所に着々と近づいています。

【環境キャンペーン】

毎年6月の環境月間と10月の3R推進月間に実施している「環境キャンペーン」を今年も実施。6月は全国28社より約2,680万個、10月は26社より約2,030万個の飲料用紙パック商品にメッセージを掲載し、広く利用者の皆さんに紙パックリサイクルを呼びかけました。ご協力いただいた全商品のパッケージデザインを容環協ホームページで紹介しています。

今後も掲載対象の拡大と通年掲載の継続を推進していきます。



掲載している環境メッセージ

プラン2010の
進捗状況

容環協は社会的責務として、年間100億個近く使用されている紙パックのリサイクル活動を推進するために、2007年に策定した「プラン2010」の行動計画に基づいて、活動を展開しています。

【プラン2010の行動計画の目的】

- ①紙パックの回収率を高める
- ②紙パックの環境特性を正しく伝える
- ③環境を考え、行動する人々を増やす

【具体的な行動計画】

- I. 家庭系紙パックの回収率向上
- II. 教育や学習の場における活動の促進
- III. 店舗などで使用される紙パックの回収促進
- IV. よりよいコミュニケーションに向けた情報の整備

【計画の実現に向けて】

「プラン2010」の実現には、乳業メーカーや紙パックメーカー、小売店、学校、地域コミュニティ、回収業者、直納問屋、行政機関など、さまざまな組織や人との有機的なつながりが重要です。幅広いネットワークを構築し、関係する全主体者との連携を重視して、目標達成を目指しています。

【プラン2010の進捗状況】

「プラン2010」の目標年度に当たる今年度も、具体的な行動計画に沿って活動を推進し、個々の活動はその目標を概ね達成してきています。その中で回収率については年々着実に向上してきているものの、現時点では目標値にまだ達していない状況です。

プラン2010の行動計画の目的



今後の課題と
次期行動計画へ

【今後の課題】

今年度は計画の最終年度に当たり、これまでの活動を振り返り、その課題について検討を進めているところです。その一環として、市民の紙パックリサイクルに対する現状の意識や実態を把握するためにWeb調査を実施しました。その調査結果から、以下の点が明らかになりました。

- ①家庭内では、紙パックをリサイクルするほかに、まな板の代用等に再利用されることが多い。(再利用された後はごみになる場合がある)
- ②他の古紙に混ぜて排出される場合が多くあり、紙パックの回収量としてカウントされていない。
- ③家庭以外の屋外などで消費された紙パックは、リサイクルされずに廃棄されているものが相当ある。

これらの項目に対応し、リサイクルを促進し継続させるためには、すべての関係者との連携が重要です。特に各地域とのネットワークづくりが不可欠であり、次の取り組みを進めていくことが必要と考えています。

- ・各地域での連携の継続や発展につなげるための、フォロー活動を強化する。
- ・活動をより効果的に推進するために、地域での活動の担い手の発掘と育成に取組む。

【次期行動計画に向けて】

新たな課題が明らかになる中で「プラン2010」の進捗状況を踏まえながら、変化している事態への新たな対応と、より効果的な活動に向けた取り組みの見直しを含めた「次期行動計画」の策定を進めます。

<次期行動計画に盛り込む新たな項目>

- ①地域の回収力を高める場づくりの推進
 - ・地域での連携の継続や発展に向けたフォロー体制の強化
 - ・地域での活動の担い手の発掘・育成
- ②家庭系紙パックの回収促進への追加対応
 - ・家庭での再利用後のリサイクル促進
 - ・紙パック単独での分別回収の促進
 - ・屋外や施設などで消費される紙パックの回収促進